

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	げきだんかぜのこちゅうぶ 劇団風の子中部		団体ウェブサイトURL	
代表者職・氏名	代表取締役 西川典之			
制作団体所在地	〒 500-8241	最寄り駅(バス停)	名鉄名古屋本線 茶所駅	
	岐阜市領下21番地16			
電話番号	058-215-7780			
ふりがな 公演団体名	げきだんかぜのこちゅうぶ 劇団風の子中部		団体ウェブサイトURL	
			https://www.kazenokotyubu.com	
代表者職・氏名	代表取締役 西川典之			
公演団体所在地	〒 500-8241	最寄り駅(バス停)	名鉄名古屋本線 茶所駅	
	岐阜市領下21番地16			
制作団体 設立年月	2010年4月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 西川典之 事務局長 田島千穂 創造部長 榎田真理子		【創造部】榎田真理子、大熊勝利、榎田大介、井野口祥平、川尻晴菜、古山かな恵、神田純平、安井萌々香、橋本弥侑、高原真理子 【制作部】西川典之、田島千穂、石井貴大、阪井大輝、小寺真由子、関由美	
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者置く	本事業担当者名		西川典之
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名		田島千穂

制作団体沿革	1950年、劇団風の子が東京下北沢で創立。 1987年、劇団風の子の地方事務所として愛知県一宮市に東海事務所を開設。 1992年、事務所を岐阜市に移転し、2009年まで普及を中心とした活動を展開。 2010年4月、劇団風の子から運営独立し「劇団風の子中部」を岐阜市に設立。 2018年4月、株式会社劇団風の子中部として法人独立し、現在に至る。		
学校等における公演実績	【2018年度公演実績】 「ギャング・エイジ」:79日 102ステージ 他作品公演 合計254日 294ステージ 【2019年度公演実績】 「ギャング・エイジ」:106日 128ステージ 他作品公演 合計275日 307ステージ 【2020年度公演実績】 「ギャング・エイジ」:45日 73ステージ 他作品公演 合計 181日 268ステージ 【2021年度公演実績】 「ギャング・エイジ」:84日 131ステージ 他作品公演 合計 262日 389ステージ 【2022年度実施校並びに2学期実施予定校】 「ギャング・エイジ」:90日 132ステージ 他作品公演 合計 253日 354ステージ		
特別支援学校等における公演実績	【静岡県】静岡南部特別支援学校、静岡中央特別支援学校、袋井特別支援学校 【愛知県】岡崎市みあい特別支援学校 【岡山県】岡山県健康の森学園特別支援学校 【富山県】富山県立高志支援学校 【岐阜県】岐阜県立関特別支援学校 ほか公演実績有		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/Q_fcM9xUNUE	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団風の子中部 】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	劇団風の子中部「ギャング・エイジ」公演		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	「ギャング・エイジ」		
	原作:阿部夏丸		
	脚本:いずみ凛		
	演出:中島研		
	身体表現:若林こうじ		
	音楽・効果:曲尾友克		
	公演時間 75 分		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況
演目概要	(あらすじ) 主人公エイジは、元気で人気者な小学四年生。お笑い好きのタカヒロや優等生のミサキ、虫が好きなちよつと変わったココロ、ユニークな同級生たちと毎日を過ごしていた。そんなある日、偶然が重なり、突然エイジは「らんぼうもの」のレッテルを貼られてしまう。どうしていいかわからないエイジは学校を飛び出し、中学生のイサオと出会う。イサオは「ギャング」という言葉をエイジに教えてくれた。「弱い者いじめはダメだ。迷惑たれながす奴もだめだ。カッコいいギャングになるんだ」と語るイサオ。粋に当てはめられるなら、いっそ自分からその粋を飛び出してしまつたら…？エイジは決めた。目指すは(カッコいいギャング！)タカヒロがピンチの事態に、ココロの機転とエイジの行動力で乗り切り、それをきっかけに、ココロのでっかい絵を描きたいという夢を知る二人。ココロの夢を叶えるために、カッコいいギャングになるために、三人の作戦会議が始まった。 (みどころ) 5人の演者が舞台空間を縦横無尽に駆け回るエネルギッシュな表現。ブルースハープ(ハモニカ)の生演奏と音響効果による迫力あるサウンド。カラフルな粋を使った舞台表現。そして、原作の世界観を踏襲しながら、現代の“リアルな子どもたち”の心情が吐露されたような台詞の数々に、共感する子どもたちの感想も多数寄せられています。		
演目選択理由	＊この事業の目的のひとつは「コミュニケーション能力の育成」と認識しています。この劇の主人公エイジを取り巻く子どもたちは、ココロをいじめるトオル、親友のタカヒロ、正義感の強いミサキと様々です。そんな子どもたちが、突然引き起こされた事件に巻き込まれながら、反発し、共感し、妥協しながらも自己決定したことを表現し、さらに新しい関係へと発展させていく子どもたちのドラマが描かれています。ココロは人を避け、自分の世界に閉じこもっている子どもでしたが、エイジやタカヒロの友情で心を開き、共に行動することで共感を生み出し、ココロ自身が彼女の中に潜んでいた、発信する力を発見していきます。5人の子どもの群像との出会いを通してコミュニケーション能力の育成を図りたいと思います。 ＊さらに、この事業の目的の一つ「発想力の育成」は、体験や模倣の中から鍛えられます。主人公のエイジは、ココロの心の中のざわめきを聞いて、だったら「こうしてみない」とか、たくさんの着想をココロと共有しようと訴えます。エイジやタカヒロの面白い発想力がココロの心を大きく動かしていきます。3人の織り成すドラマが見ている子どもたちを大きく刺激することは間違いありません。これらの事で、舞台芸術への興味と、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につながっていくと考えます。		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	[劇中のエンディングシーン] 児童5～30名程度出演参加。主人公たち出演者とともに舞台上で、簡単な振り付けに合わせテーマソングを歌い踊ります。		
出演者	榎田大介 井野口祥平 安井萌々香 神田純平 高原真理子		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 5 名 スタッフ: 1 名 合 計: 6 名	運搬	積載量: 1 t 車 長: 6.99 m 台 数: 1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		有		前日仕込み所要時間		3時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出	
	7:00	7:00～11:00		13:30～14:45	無	15:00～17:00	17:10	
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。							
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月			
	10日	5日	0日	5日	0日			
	11月	12月	1月	計	40日			
	10日	10日	0日					
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。							
児童・生徒の 参加可能人数	本公演		共演人数目安		30名前後(1クラス程度)			
			鑑賞人数目安		250～400名			
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出や がわかる写真) ※採択決定後、採 択団体へ図面等詳 細の提出をお願い します。								
								
								
								
								

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	30名
ワークショップ 実施形態及び内容	(事前ワークショップ)心と身体の解放を目的とした“あそび”のワークショップを実施後、実際に出演する際の歌と振り付けの練習。その後、出演グループごとに分かれ、歌の途中で叫ぶ「こどもの主張」(例「夏休みをもっと長くして欲しい!」「宿題を減らして欲しい!」「戦争はいやだ!」等)についてディスカッション。その日決めた主張(本番までに変更してもOK)を取入れ、最後に歌と振付に合わせて発表してもらいます。 (当日まで)覚えた歌と振り付けの練習。「こどもの主張」について変更したい等あれば話し合っておく。 (当日リハーサル)実際に出演する児童、先生と打合せ、リハーサルを行います。		
ワークショップの ねらい	思春期にさしかかる、まさにギャングエイジ世代の子どもたちは、自我の目覚めとともに他者からの目を意識し始めます。そのことにより人前に立つ、喋る、表現する、演じることに相当なプレッシャーを感じる子どももいます。そこで演劇とは本来、PLAY＝演劇＝遊びであり、ごっこ遊びやものまねの延長であること、今回の舞台表現は「まずは、思い切り体を動かす気持ちよさを体感して欲しい」と伝えるためのワークショップにしたいと考えます。 コロナ禍で、自分の思い、考えを人に伝える、表現する機会が少なくなっている子どもたちに、歌詞の中の“こどもだって悩むのさ、だけど言っちゃえ!”に続く「こどもの主張」という形式で、自分たちが抱えている思いを、仲間と一緒に叫ぶという経験をしてほしいと考えます。		
その他ワークショップに 関する特記事項等	当日の出演児童は舞台上で歌い踊る演出上、30名程度が妥当なのですが、ワークショップに関しては多少多くても対応可能です。 例:1学年2クラス60名がワークショップ参加。その中で各クラスから舞台上に上がる児童と、舞台脇特設スペースで歌だけ歌う児童に分かれて参加など。		

リンク先		【公演団体名	劇団風の子中部	】
2018～2021年度公演実績および2022年度公演予定	【2018年度公演実績】 小学校公演：「ギャング・エイジ」：79日 102ステージ 「ぱらりっとせ」：39日41ステージ 幼稚園・保育園公演：3作品 116日 133ステージ 子ども劇場公演：3作品 14日 15ステージ その他の公演(教育委員会主催など)：3作品8日 8ステージ 計254日 294ステージ 【2019年度公演実績】 小学校公演：「ギャング・エイジ」：106日128ステージ 「ぱらりっとせ」：30日34ステージ 幼稚園・保育園公演：3作品 106日 112ステージ 子ども劇場公演：2作品 20日20ステージ その他の公演：3作品 24日24ステージ 計275日 307ステージ 【2020年度公演実績】 ＊コロナ禍の中で複数回に分けて、1小学校で3日6ステージ開催など、3密を避けての公演が主流となった。 小学校公演：「ギャング・エイジ」 45日 73ステージ 「ぱらりっとせ」 33日 54ステージ 幼稚園・保育園公演：2作品 92日128ステージ 計181日268ステージ 【2021年度公演実績】 小学校公演：「ギャング・エイジ」 71日 115ステージ 「ユエと瑠璃色の石」 32日 47ステージ 「ぱらりっとせ」 24日 39ステージ 幼稚園・保育園公演 100日 147ステージ その他の公演 35日 41ステージ 計 262日 389ステージ 【2022年度実施校並びに実施予定校】 小学校公演：「ギャング・エイジ」 90日 132ステージ 「ユエと瑠璃色の石」 76日 139ステージ 「ぱらりっとせ」 45日 63ステージ 幼稚園・保育園公演 117日 149ステージ 計 328日 483ステージ			